

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年3月3日

2003年2月概況

2003年2月の降水量は、北中央地区、北東地区の一部を除き平年を上回り、州全体で土壌水分が多少改善された。2002年10月1日からの積算降水量は全地区に於いて平年を下回り、北中央地区では平年の81~93%、北東地区では56~96%である。2月末のTopsoil水分はVery short:23%、Short:44%、Adequate:33%、Surplus:0%と発表され、これは昨年同期のTopsoil水分より良い状況である(昨年:Very short:49%、Short:38%、Adequate:13%)。

2月末の冬小麦のSnow cover状況は、Excellent:5%、Good:25%、Fair:25%、Poor:15%、Very poor:20%と1月より改善した。冬小麦の生育状態は昨年産より良い状況にある。凍害はHeavy:9%、Moderate:45%、Light:34%、No damage:12%と発表された。

土壌水分生育状況：2月末日

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	23	44	33	0
Subsoil (%)	49	38	13	0

冬小麦作柄状況：2月末日

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This month (%)	4	18	60	16	2
Last month (%)	3	25	42	28	2
Last year (%)	19	30	43	8	0
5-yr. Ave. (%)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Source: Montana Agricultural statistics Service

今後は来年4月まで毎月一度気象概況を報告致します。

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com